

平成27年度京都大学法学部 第3年次編入学試験問題

論 文

試験時間 13 : 30 ~ 16 : 00

※注意事項

- ・ 係員が試験開始の合図をするまで、問題を見ないこと。
- ・ 問題用紙は試験終了後、持ち帰ること。
- ・ 問題は第一問と第二問からなる。全ての問題に解答すること。
- ・ 解答用紙は第一問と第二問別々であるので、間違えないように解答すること。
- ・ 問題用紙は下書きに使用してもよい。

第一問

各国の憲法には、通常、人権に関する条項があり、その国にいる者の人権の保護が図られている。他方、国際法においても各種の人権条約がつくられており、それが条約の締約国に適用されている。なぜ、憲法と国際法の双方で人権の保護が図られなければならないのか。あなたの見解を述べなさい。

第二問

人々の安全・安心を確保するための措置・対策は、人々の「自由」にとってどのような意味をもつものと考えられるか。あなたの考える「自由」の定義を明らかにしたうえで、そのような措置・対策が「自由」を促進する面、逆に阻害する面の両者について、具体例を挙げつつ論じなさい。